



こもれび新聞

2023年
7月号

連絡先：〒197-0825 東京都あきる野市雨間385-2 電話 042-550-3030 FAX 042-558-0756
発行者：社会福祉法人さくらぎ会・特別養護老人ホーム こもれびの郷 <http://www.komorebinosato.or.jp>

令和四年度事業報告 決算報告が承認

先日社会福祉法人さくらぎ会の理事・評議員会が開かれ、令和四年度の事業・決算報告が行われました。各役員の皆さまに対し、さくらぎ保育園・さくらぎこばん、特養こもれびの郷などの責任者が令和四年度の状況などを書式や図表を用い以下のように報告いたしました。

保育園二園からは、子どもをめぐり、昨今の社会情勢についての報告がありました。また、両園とも築十年を超え、定められたメンテナンスについて、状況も伝えられました。こもれびの郷からは、近隣の同業施設との協力体制や、その実績について、詳しい解説がありました。

各事業所の経営状況ですが、ここ数年の不確定な状況の中でも工夫を行い、堅実な数字を出しております。これらの具体的な内容は各事業所にて公開しておりますので、ご興味がある方は閲覧コーナーにてご覧ください。

最後に監事報告があり、いずれの事業所においてもルールを順守し、堅実に運営・経営されているとの報告もしていただきました。

納涼祭のお知らせ

八月十九日（土）午後

利用者様ご家族二名まで参加可で開催予定です。
利用者様へのお祭り食提供とゲストによる余興を考慮しております。

参加希望の方は電話でのご連絡をお願いします。

ICTプロジェクト

こもれびの郷では各種プロジェクト活動を行なっております。これは施設が直面するその時々の諸問題に対し、職員有志を募り、研究、見学、試行、測定などのプロセスを辿りながら組織としてのレベルアップをはかるという、ものです。

現在5つのプロジェクトが進行中ですが、その中で今回はICTプロジェクトをご紹介します。ICTとは情報通信技術のことで、新しい技術を使って業務の効率化、質の向上、そして最終的には利用者満足度の向上を目指していくというのがICTプロジェクトの目標です。

以下に進行中の各項目をあげておきます。

- ・現状の確認作業
- ・記録類のデジタル化
- ・安全確認のモニター
- ・ナイスコール設置（各種センサーの接続済）
- ・今後の課題・記録
- ・記録類の一括複数書式入力（NC・センサーと接続）
- ・今後の課題・身体
- ・自動式介護用品の検討
- ・アシストスーツ
- ・コミュニケーションロボット
- ・今後の課題・拡張
- ・ねむりスキャンの検討
- ・看取り強化システムの活用
- ・ロボットベッドの活用

ICTや機器導入はあくまでも利用者様のQOL向上や業務省力化・効率化などのメリットがなければ導入の意味がありません。慎重に見極めさせていただきます。



すくすくと育って

こもれびで野菜育つ

こもれびの郷の前庭にあります「こもれび農園」では今年も、すくすくと野菜が育っております。この農園は様々な職員が関わりながら整備されており、毎年多くの実りを私たちに届けてくれます。

特に一階の居室からは、窓からその生育状況をつぶさにみることも出来るので、毎日の楽しみの一つともなっております。

以前は芋ほり大会など、称し野菜の収穫を大勢の利用者の皆様に手伝いいただいたのですが、感染症の流行でそれも難しくなりました。ですので最近に限られた人数での採集、そして観賞用となってしまうことがあります。畑で採れた野菜が食卓に並ぶのは、とても楽しい出来事だと受け止めて下さっているご様子です。（下記）の栄養士さんの文章にもありますね。）

今後いろいろな野菜、そしてお花などを育てていきたいと考えております。



たくさんの日差しをあびて

調理室より

管理栄養士 荒井 みさき

梅雨で湿度も高く、じめじめとした日が続いています。どうしても気が晴れず、どんよりとした食卓が減退するといった話もよく耳にします。これからの季節は特に食欲をそそるような食材や旬のものを取り入れた献立を考えていきたいです。

6月は祝日もなく、特別な行事食はありませんでした。代わりに、いつもの献立を少しアレンジして新しいメニューもお出ししました。こもれびの郷ではスパゲッティではナポリタンが定番メニューとしてあります。今回はこれを同じトマトベースではありますが、ポロネーゼにしてみました。トマト缶と挽肉を使用し、ポリューム感もあり、満足度の一品だったようです。

また、焼きそばも定番のソース焼きそばから、かつおだししょうゆベースで提供しました。今後も味の變化なども考えながら献立作りにも励んでいきたいと思っております。

今年も施設内の農園でじゃがいもがたくさん収穫され、例年通り給食に使用して利用者の皆様に召し上がって頂きました。施設内で収穫できたものと言った特別な感想をいただく、皆様から美味しい感想をいただくことができました。収穫できたものは給食にも取り入れ、味わって頂くと思います。



昼食のメニュー
ポロネーゼ・スパゲッティ

< 雨間・みどりの里地区の皆さまへ >

ご高齢の方のこもれびの郷への入所・短期入所のご相談承ります。
あきる野市など地元の方の入所枠がございます。

電話：042-550-3030 担当：相談室

六月份運営会議より

こもれびの郷では毎月役職者が集まり、運営会議を行っております。（議長・施設長、司会・総務課長）この席では施設運営に関わる各種確認と経営状況の点検を行っております。六月の会議内容は以下の通りです。

〈毎月の確認事項〉

- ・感染症対策の現状確認
- ・前月までの入退所状況の確認
- ・当月～来月までの入退所予定
- ・入所判定会議
- ・稼働率や予算執行条件の確認
- 〈その月の議題〉
- ・面会を再開する方法確認
- ・行事の規模に関する確認
- ・施設内修繕計画
- ・プロジェクトより報告
- ・職員の育成状況確認
- ・その他

運営会議は、細やかなルールや方法を議論するのではなく、大まかな方向性や予算執行に関する確認を行う場となっています。

こもれびの郷の強みは、その場に参加するものが皆、実際に利用者の生活の介護や送迎、身の回りのサポートなど実務に携わった経験がある人達で構成されていることです。

経験から、利用者様の予想される反応、職員の気持ち、ご家族の立場などを総合的に判断して物事を決めてまいります。



季節行事・七夕

こもれびの郷では毎年七夕の時に館内五か所に本物の笹を用意し、利用者の方々に作っていただいた七夕の飾り、そして認めていただいた願い事の短冊を結んでおります。「健康に過ごせますように」、「おいしいものが食べたい」などの一般的なものから、意表を突くものまでバラエティに富んだ内容を見ることができました。



利用者様の筆による

お誕生日おめでとう ございます

こもれびの郷では、利用者の方々の誕生日の月にその方に合わせたお祝い、パーティー企画を行っております。趣旨としては、こもれびの郷をご利用いただいている大切なお客様にもある皆様に、年に一回日頃の感謝を込めてお祝いをさせていただきます。企画は利用者様のお部屋の担当をさせていただきます。職員が行っております。



緊張の一瞬

ぐらり施設散歩の旅

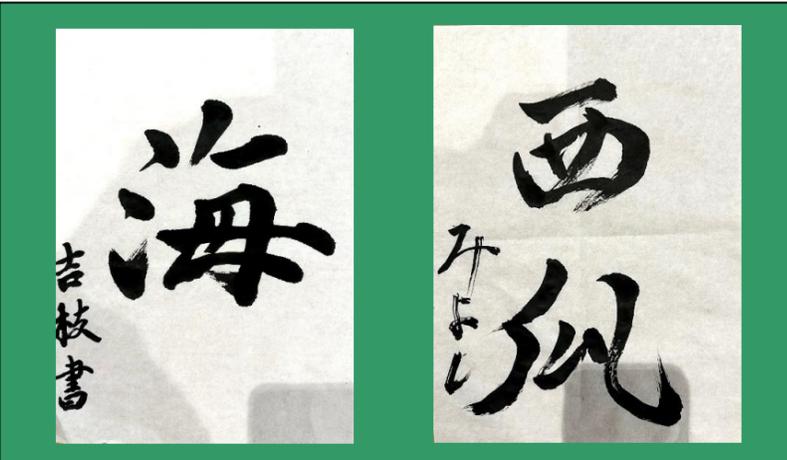
ファイル203
「水辺のひととき」

こもれびの郷の中庭には池があります。井戸水を組みあげて、大岩の上から流している滝もあります。池のほとりには、テーブルがあり季節の花を活けてくれる職員さんがいます。



優しい風景

今月の芸術家



書道クラブ作品

ボランティアア通信

活動再開の
見通しについて

ボランティア活動の限定的な再開を検討しております。感染リスクの高い、集団活動の再開は時期を見て段階的に判断いたしますが、個別の活動については夏の再開を予定しております。

俳句川柳クラブ

城下なる
菓子舗の白き
夏暖簾（渡邊吉氏）

池の中
すいすい泳ぐ
錦鯉（庄司氏）

梅雨空に
紫陽花見事に
咲き乱れ（石川氏）

小雨降り
梅雨に咲く
紫陽花か（三井氏）

梅雨曇り
紫陽花寺が
人の波（水村氏）

夏の里
アユを狙いて
ミサゴ舞う（清水氏）



<7月の行事>

- 1 土 療法士指導
- 2 日
- 3 月
- 4 火 ワックス清掃
- 5 水 ワックス清掃、俳句川柳クラブ
- 6 木
- 7 金 理容
- 8 土 療法士指導
- 9 日
- 10 月 音楽クラブ
- 11 火
- 12 水 防災訓練、アロマクラブ
- 13 木 迎え火
- 14 金 理容、華道クラブ

※ 感染症予防の為、外部ボランティアさんの参加をお休みいたします。

- 15 土 療法士指導
- 16 日 送り火
- 17 月
- 18 火 茶道クラブ
- 19 水 菓子配達
- 20 木
- 21 金 理容
- 22 土 療法士指導
- 23 日
- 24 月 手芸クラブ
- 25 火
- 26 水 書道クラブ
- 27 木
- 28 金 訪問美容、利用者懇談会

- 29 土 療法士指導
- 30 日
- 31 月 手芸倶楽部

<8月の行事> ※変更の可能性あります

- 1 火
- 2 水
- 3 木 クラブ活動
- 4 金 理容
- 5 土 療法士指導
- 6 日
- 7 月 クラブ活動
- 8 火
- 9 水 防災訓練
- 10 木 クラブ活動

